

# 障がい者雇用の周知促進について

平成30年8月10日（金）  
燕市障がい者自立支援協議会

## 1. ハローワークからの情報提供

※ハローワーク巻からの資料参照

## 2. 燕市の取り組み状況(平成30年度)

- (1) 障がい者雇用の周知を燕市ホームページに掲載
- (2) 4/18(水) 燕商工会議所訪問にて企業への事業所PRの情報交換
- (3) 5/1(火) 第1回就労系サービス事業所情報交換会開催
- (4) 5/24(木) ハローワーク巻訪問。11月の企業見学会参加を依頼
- (5) 『事業所が提供可能な物品調達・受託作業一覧』を作成。ホームページ掲載

### 【今後】

- (1) 『事業所が提供可能な物品調達・受託作業一覧』等を商工会議所、企業見学会、農業まつり等の効果的な周知場所を選定しPR
- (2) 農福連携促進事業実施(準備中。8月後半より開始)
- (3) 就労系サービス事業所情報交換会開催(3回予定)
- (4) 商農工福連携実施(青空即売会でのツバメルシェ)
- (5) 就労支援専門部会開催(1月予定)

## 3. 各委員(所属)での取り組み、取り組みそうなこと

メモ

◆障がい者実雇用率（％）

毎年11月にデータが出る

↓ H29.6.1現在

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
燕市	1.79	1.89	1.97	1.84	2.06	1.97
ハローワーク巻管内	1.62	1.72	1.8	1.84	1.93	1.93
新潟県	1.59	1.65	1.75	1.85	1.93	1.96
全国	1.69	1.76	1.82	1.88	1.92	1.97

◆燕市の障がい者雇用の状況

(社)

	平成28年度	平成29年度
対象企業数	77	79
達成企業	47	45
未達成企業	30	34

43%が未達成

(人)

	平成28年度	平成29年度
法定雇用常用者数	9418.5	9,525
雇用障がい者数	194	188
不足数	36.5	36.5

## 障がいのある人の農業分野での就労を支援

－ 農業と福祉をつなぐ『農福連携』のモデル事業を実施します －

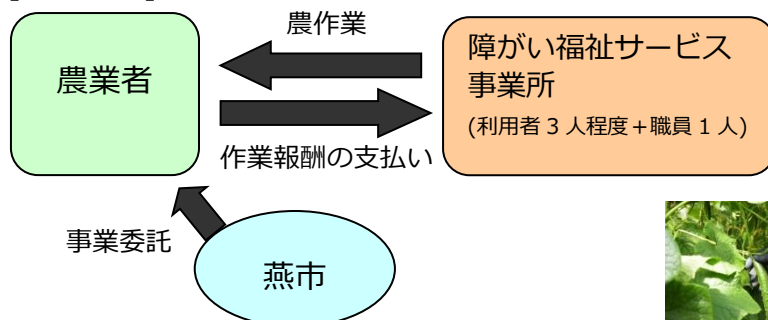
市内の 3 農業者の協力のもと、障がいのある人が、施設の外で農作業を行います。農業分野の人手不足の解消と、障がいのある人の就労の確保や工賃の向上に向け、“農業”と“福祉”の連携を推し進める「モデル事業」で、8 月 28 日から実施します。

今後、「農福連携」を促進し、農業の活性化と障がいのある人の就労先や地域で活躍できる場の拡大を目指します。

### 【施設外就労農業体験（モデル事業）概要】

市内の障がい福祉サービス事業所から利用者 3 人程度と職員 1 人が農業者の作業場に行き、農作業を 3 日間（3 時間/1 日）行います。農業者と障がいのある人が作業を通して触れ合うことで、更なる農福連携のきっかけ作りを進めていきます。

【スキーム】



### 【日程】

	日程	農業者	作業内容
第 1 回	8/28、9/4、9/11 他 【午前（予定）】	本町そ菜出荷組合	きゅうりの箱折など
第 2 回	9 月中	ツバメファーム	集卵、選別など
第 3 回	10/15～	小杉農園	柿の選別、収穫など

### 【報告会】

モデル事業終了後に、市内農業者や障がい福祉サービス事業所などを対象にした報告会を開催します。（12 月頃予定）

本件についてのお問い合わせ先  
健康福祉部 社会福祉課：笠原  
電話：0256-77-8172（直通）